

コース 43 荒船山縦走

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成22年11月13日(土) 天候 晴れだが黄砂覆う

参加者 34(男性 9 女性25)

グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅西口		4:55	区役所前発5:10、塩沢P、甘楽P休憩
下仁田IC	8:30		晴れのはずが黄砂で覆い、眺望が心配
内山峠登山口	9:15	9:25	駐車場一杯の車に驚く
大岩盤下	10:28	10:35	途中の崩壊箇所は木の階段にして修復してある。
トモ岩西端	11:13	11:20	最近の死亡事故箇所からは、浅間山がくっきり見えた
トモ岩先端	11:25	11:25	一旦通過だけに留め、経塚山へ向かう。
経塚山	12:10	12:20	山頂直下の広場でも、山頂でも登山団体で一杯
トモ岩先端	12:55	13:45	黄砂だが、浅間山は薄っすらと見えてラッキー
山の神	14:35	14:45	この後、沢沿いは、紅・黄葉が残って見事
相沢登山口	15:25	15:45	懸念していたが、小型バスが入れて良かった
下仁田道の駅	16:18	16:33	「下仁田ネギ」でバスの中も臭くなる
新津駅西口	20:30		

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 当初申込は36名で、小型バス満席27名、プラス9名で、ちょうどジャンボタクシー1台追加で断らなくて済む。折角の申込なので、バスとタクシー2台で実施した。
- ・ 当日は、新潟県以外は全国的に快晴予報で喜んでしたが、実際は関越トンネルを抜けても曇り空。オヤオアと思っていると、どうも様子が違う。黄砂が空一面に覆っていたのだ。



トモ岩の大展望台にて、右手遠くに浅間山の全容

- ・ 荒船山の一番の見所はトモ岩からの展望なので心配していたが、そのトモ岩に立って浅間山を見ることが出来て(担当として)ホットした。
- ・ 下り中腹以降以外は昇りの全てや、山頂の特徴である平坦地全て枯木状態だったが、トモ岩の岩壁ほか、周囲の山々の情景が良く見通せて、荒船山を堪能できた。
- ・ 大グループ、小グループ、二人連れ、単独行等々大変な賑いで、この山の人気の高さ、私達一同も感じ入った様子だった。

「荒船山縦走」に参加して

(791) Y/A

荒船山は、一年ほど前に『クレヨンしんちゃん』の作者が、転落したニュースで、初めて知りました。どんな山なのだろうと、興味がわき調べました。まず、驚いたのは、山の形です。本当に、船そのもの。こんな形の山があるなんて、、、。そして、春になるまでそんな事も忘れていました。

ハイキングクラブの登山計画一覧表を見ていると「荒船山縦走」と言うのが、目にとまりました。すぐに大きな、まるをつけていました。

そして待ちに待った11月13日。まだ、暗い早朝、わくわくする気持ちをおさえながら自転車を走らせ集合場所へと向かいました。

参加者総勢34名で、小型バスと、ジャンボタクシーで出発しました。内山峠登山口に近づく、バスの中から荒船山の切り立った大きな断崖が、目に入ってきました。これから登る山を目の当たりにしてバスの中は、一様に賑やかになりました。

アップダウンを繰り返し岩場の急登を過ぎると熊笹の台地に出ました。ここが、「クレヨンしんちゃん」の作者が転落したと言う、トモ岩でした。その崖っぷちからは、少し雪化粧した浅間山が見え感激しました。その眼下には、すばらし眺望が待っていました。リーダー自らストックを取り出して二本を並べ、「ここから先に行っては危険です」と、注意があり、切れ落ちた崖の上では、高度感に足がすくむおもいでした。この頂上台地は、とても広く、昔、太平洋戦争中、ここを飛行場にするという計画があったが、風が強いため、取りやめになったとか、、、。



内山峠からの登り途中の大岩壁前にて

唐松の黄色い葉がとても美しい樹林帯を、下りながら、個人では、味わう事のむずかしい一つの山を二度楽しめる縦走に有難さを、かみ締め、相沢集落へと向かいました。

帰り『道の駅』で、下仁田葱を買い、バスの中は、葱の匂いと、今、登ってきた山の感動で、熱気あふれ、賑やかな帰路となりました。

楽しい山行きを計画して下さったリーダーの方々本当にありがとうございました。